

経営会議の内容

件 名	健康都市やまと総合計画・後期基本計画骨子（案）について
所 管 部	政策部
日時・場所	令和5年1月26日（木） 9：15 ～ 9：55 研修室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境施設農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり施設部長、病院事務局長、議会事務局長、消防長、教育部長、総合政策課長
提 出 理 由	健康都市やまと総合計画・後期基本計画を策定するにあたり、その骨子（案）について了承を得るため
会議経過	【主な意見等】 ・ 市民意見の収集として市民意識調査を令和3年9月に実施しており、コロナ禍の影響が出ていると思うが、これまでの結果と比較してどのような特徴がみられるか。また、この市民意識調査の結果をどのように骨子に反映しているか教えてほしい。 （所管部） 今回の市民意識調査は令和3年9月、その前は令和元年9月の調査なので、今回の結果にはコロナ禍の影響があると考えている。調査項目の中で最も変化が大きかったのは、「大和市では、文化や芸術活動が盛んに行われていると思う」市民の割合であった。この項目は、シリウスのオープンを境に、令和元年の調査で大幅に上昇したが、コロナ禍でシリウスの閉館期間があったことなどにより、シリウスオープン前と同じくらいまで減少した。また、「あなたのまわりでは、多文化共生や国際交流が盛んに行われていると思う」、「あなたは、地域活動に参加していると思う」など、人と人の交流に関わるような項目については減少していた。コロナ禍により人と人とのつながりという点で課題が見えてきたことを踏まえ、自治会だけでなく、多様な方法で地域活動の活性化を図っていく方向性などを、計画体系に反映している。 ・ 今回、後期基本計画において主に踏まえるべきこととして、おひとりさまへの支援、脱炭素社会の実現、外出の促進が掲げられている。これらの分野は、所管部はもちろん、色々な部署が連携していかなければならないと思う。そうしたことを踏まえ、予算、組織、要員など必要な資源について、柔軟な対応ができるよう行政運営の考え方として打ち出してほしいと思う。 （所管部） 変化のスピードが速い時代であり、今後も、様々な課題が出てくると思うので、柔軟な対応ができるよう考えていきたいと思う。 ・ 総合計画審議会から様々な意見をいただいていると思うが、なにか特徴的なものがあれば教えていただきたい。 （所管部） 総合計画審議会からは、様々なご意見をいただいているが、成果指標の妥当性に関する意見が多かった。 ・ 指標の設定は難しく、また、経年を捉えていく必要があることから、一度設定すると大胆に変更できないというようなジレンマもある。今後、指標について庁内調整を図っていくことと思うが、各指標の所管部においてももしっかり協議していきたいと考える。

	・市の総人口はあまり変わらないとしても、地域によって変動がある。現在、南部の中学校3校は学区を廃止し、他の中学校区から入学できるようにしているが、活用している生徒はいない。こうしたなかで、都度、状況に応じた対応を進めていくことになるので、総合計画においては、柔軟に解釈していけるようお願いしたいと思う。 （所管部）今後、様々な課題が出てきたときには、総合計画で示した取り組みに限らず、柔軟に対応していくことが大切だと考えているので、そのような点を踏まえながら計画をまとめていきたいと思う。 ・これまでシリウスやポラリスなど、居場所となる基盤は整ったと思う。これからは、この基盤を使ってどのようにまちを活性化させていくのかを考えていかなくてはならない。今は自治会を核としたエリアコミュニティが中心だが、障がいや介護など、テーマで活動していくコミュニティもある。エリアコミュニティとテーマコミュニティの融合に取り組んでいくことも必要となるのではないかと考える。 ・今回、市の総人口が現在からあまり変わらないとされている中では、人口の増減に関わる部分を盛り込む必要性は低いという前提で、前期基本計画の体系を引き継ぐことを基本とし、後期基本計画の体系が提案されているということで良いか。 （所管部）基本的にはそのとおりである。総合計画の構成として、令和10年度までの基本構想があることも踏まえ、継続性の観点からも前期基本計画を引き継ぐことを考えている。また、人口規模は大きく変わらないものの、年齢構成は変わっていく。特に、65歳以上の単身の高齢の方が増えていくことから、今回、目標体系におひとりさまの要素を追加しているところである。 ・年齢構成が変わることについては、後期基本計画の体系に反映されていると考えてよいか。 （所管部）そのとおりである。 ・今は変化のスピードが速い時代である。社会情勢によっては、総合計画に示した方向性とは異なる方向で取り組んでいかなくてはならないことも想定されるが、そのような場合にも対応できるようにしてもらいたい。 （所管部）状況の変化に合わせて、適切な取り組みが展開できるようにしていきたいと考えている。
会議結果	案のとおり、進めていく。